甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 公開講演会

現在の青果卸売市場の役割とは何か

～神戸中央青果株式会社の取組みを通して食品の流通を考える～

卸売市場は、日本全国から集められた青果物、水産物、肉、花を取引し、小売店（スーパーマーケット等）、外食事業者（レストラン等）、そして加工業者へ販売する拠点となる卸売業者の集積です。その場でセリ・入札により商品の値段が決められます。普段は、最終消費者である私達にはなかなか目につきません。それは、ほとんどが早朝に業務がおこなわれているほか、全国から生鮮産品を集荷するために、交通の結節点等に立地することが多いからです。

この卸売市場は、「市民の台所」と呼ばれ、我々の日常生活における生鮮品の流通においては、必要不可欠な存在とされてきました。しかし、近年、この卸売市場を経由する産品が減少してきています。

本講演会では、卸売業者業務に携わっておられる高橋真哉氏に卸売市場の本質とは何か、また、今後の卸売市場がどこに向かうのかについて、お話いただきます。

開催日　2025 年 11月 19 日 (水)　13:00～14:30

会　場　甲南大学 岡本キャンパス 1号館3階 133教室

講師　**高橋 真哉 氏**

神戸中央青果株式会社　上席執行役員管理部長

プロフィール（略歴）
1984年 3月　香川大学卒業
1984年 4月　阪神相互銀行（現みなと銀行）に入社
2018年 5月　みなと銀行退社
2019年12月　神戸中央青果株式会社に入社

イントロデューサー

甲南大学　経営学部　教授
ビジネス・イノベーション研究所長
西村　順二

お問い合わせ・お申込み

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所
bi@adm.konan-u.ac.jp

甲南大学